



インテリアもユニークだ。運転席に座って先ず目に付くのは、木目調のダッシュパネル。まるで自宅の部屋のテーブルのようだ。センターに置かれたナビ／オーディオスペースはあたかもテーブルに置かれたフォトフレームのようで、ダッシュボードとかインパネと言うよりは、テーブルあるいはデスクと表現した方がしっくりくる。

そしてこの三代目にも、隠れキャラのようにうさぎのマークがあちこちに設置されている。フロントグリルのセンターエンブレム、ドア開口部のボディ側とドア側あたりは発見できるのだが、リアハッチを開けた際のヒンジ部分や、運転席サンバイザーを降ろした際の天井など、思わず「ここにもいた！」と声を出してしまうような仕掛けが施されている。

加えてメーターパネル下部に設置されたマルチインフォメーションディスプレイもユニークだ。タコメーター、燃費計、エネチャージ情報などのほか、アイドリングストップ時にはうさぎのグラフィックがゆらゆら動いたり、エンジンを切ると同じくう

アルトの派生モデルとして、主に女性性をターゲットとしているラパンがフルモデルチェンジされて三代目となった。派生モデルとは書いたものの、一般的に「アルトラパン」と呼ばれるよりも「ラパン」と認識されており、明確な個性を持った別車種と考えた方がよい。

2008年には二代目が登場。4代目ワゴンRのプラットフォームを採用したことで、ホイールベースが拡大され、居住性と開放感を向上。エクステリアデザインはレトロっぽいイメージが抑えられた反面、モダンでキュートな方向が強められた。車種名の由来でもあるうさぎ（ラパンはフランス語でうさぎ）が積極的にモチーフに用いられるようになり、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイに登場ターボモデルや若い女性向けの特別仕様車「シヨ「ラ」」も設定された。

■テキスト=横山 聡史 (Lucky Wagon) ■Photo=川村 勲 (川村写真事務所) ■取材協力=スズキ アリーナ札幌東 TEL(011)782-2288

12



ディーラーメッセージ

スズキ アリーナ札幌東
カーライフアドバイザー

田中 竜馬さん

デザインで選ばれるお客様が非常に多いラパンですが、今回のニューモデルも非常に可愛いデザインで登場してきました。好評だった広い室内空間や乗降のし易さはそのままに、安全機能が充実。ボディカラーのバリエーションも迷ってしまいそうほどこだわり抜いた設定となっています。エコ性能においてもスズキグリーンテクノロジーにより、リッター33km以上の低燃費を実現。市街地からロングドライブまで、あらゆるシーンで良き相棒となってくれます。ご来店、ご試乗お待ちしております。



インプレッション

■スムーズな挙動で運転しやすい

さて動力性能だが、日常的な走行にはまったくストレスを感じさせないだけのものを持っている。ただ郊外や登坂などでモアパワーが欲しいときは、シフトレバーのボタンを押してSモードにすれば良い。4,000回転で最大トルクを、6,500回転で最高出力を発揮するエンジンなので、積極的に回しても良いだろう。ラインアップはX/S/L/Gの4グレードで各々にFFと4WDを用意。すべて5ドアボディで、搭載エンジンも京都となっている。

足回りはキビキビというよりスムーズ。ステアリングを急に切った際など、クイックな動きは見せないものの、スムーズな挙動でクルマ全体が動く。ただ最少回転半径が4.4mとアルトより僅かに小さく、ものすごく小回りが利くのに驚かされた。インプレを行う際、場所によっては何度

切り返さなければならぬことがあるが、ラパンは狭い道でもなんなく方向転換ができてしまう。スーパの混雑した駐車場、細い路地などでの運転を考慮した気配りと言えるだろう。

■自分の部屋を飾るように愛車を楽しみたい方へ

外装色のバリエーションも面白い。一般的なセダンに設定がありそうなカラーはパールホワイトとブラックパールのみ。フレンチミントパールメタリック、シフォンアイボリーメタリック、コフレピンクメタリック、フオンベージュメタリック。これまでのカラーには白いルーフと組み合わせたツートーンも選ぶことができる。単色のみのバリエーションにはカシスピンクパールメタリック、アーバンブラウンパールメタリックなどが用意されている。全バリエーションが掲載されているカタログは、さながらスイーツを見ているようだ。ホイールアーチに黒い樹脂のフェンダーがつくことによって、引き締まったイメージとともに、アクティブさをプラスしている点も見逃せない。

こうした外装色と組み合わせられるのは、ページュ、キャメルとブラウン（ともにX専用）という3種類のシートカラー。自分の部屋をコーディネートするように、お気に入りの写真や花を飾るように、「私のラパン」を選ぶことができる。これからの季節、ラパンを駆って颯爽と走る女性、きっと個性豊かで素敵な人に違いない。